

Marco Gallery

Group Exhibition

“美の記憶とその先”

神楽岡 久美/スズキエイミ/西山美なコ

2025/2/14 - 3/16

Marco Gallery 1F



メインビジュアルデザイン hoovoe

この度 Marco Gallery ではグループ展 “美の記憶とその先”を開催いたします。
ぜひご高覧ください。



Marco Gallery

【展覧会ステートメント】

あるドキュメンタリー番組でこんなシーンを目にしました。

家を出た子供が久しぶりに帰ってきたら見た目が全く変わっており、親が我が子を見て自分の子だとわからないと言っていたのです。

ここで私が言いたいのは、何らかの是非を問いたいわけではなく、それほどに目に見える身体的情報（見た目・容姿）というのは、私たちを認識するための強いアイデンティティであるということです。

そして現代において視覚的な身体的情報の変化の流動性は、より高まっているのではないのでしょうか。

そんな身体的情報と私たちの距離感が変容している時代において、美という角度からその身体のありようとアイデンティティとの関係性についてみなさまの思考のスイッチを押すことができれば幸いです。

歴史上、薔薇というのは、美の象徴的存在として語られてきました。

本展では、時間と美の関係を根幹に据えるために、時の流れを反映し移ろいゆく花を入り口にしながら、最も身近な私たちの身体という存在自体が持つ美しさを過去から現在、未来という時間軸を踏まえて検討します。

私たちのアイデンティティ（内面性）と身体（外面性）との関係性を美という角度から見つめることができれば幸いです。

そのようなことを我々自身が検討しつつ、鑑賞者に対して投げかけ、思いもよらない思考のアクセルがかかることを期待しています。

Group Exhibition

美の記憶とその先

2025.2/14(Fri)~3/16(Sun)

13:00-18:00

Holiday Mon/Tue
Reservation required/Wed



神楽岡 久美
Kumi Kaguraoka



西山 美なコ
Minako Nishiyama



スズキエイミ
Eimi Suzuki



Marco Gallery



〒542-0081
大阪市中央区南船場4-12-25 竹本ビル1・3・4F



@marco_gallery_osaka_japan
@marco_gallery_shop



Marco Gallery

【アーティスト】

神楽岡 久美 / Kumi Kaguraoka

東京都出身

武蔵野美術大学大学院 造形研究科 デザイン専攻 空間演出デザインコース 修了

医療職である両親の元に生まれた私は「身体」に興味を持ちファッション、デザインをバックグラウンドにもちます。

私にとって身体は単なる物理的存在にとどまらず、内面と外界をつなぐ媒介であり、感覚を通して他者や社会と対話するための重要なツールです。この視点が、私のアートの根幹をなす考え方となっています。また、作品制作においては、人間の根源的な欲望や、個人と社会の関係性を探る試みを続けてきました。

これまでのプロジェクトでは、『光を摘む』で身体を通じて視覚の受動性に問いを投げかけ、「見る」という行為を意識的に捉えたときに立ち現れる世界を探究しました。また、『美的身体のメタモルフォーゼ』では、「美を手に入れたい」という普遍的な欲望の源流にアプローチし、身体と美の関係を多角的に捉えました。

私の制作はリサーチとプロトタイピングを通じて形を成し、作品を介して他者との対話を促すことで、さらなる探究が始まる循環的なプロセスを含んでいます。こうしたプロセスを通じて、私はアートを介し、人間社会に内在する価値観や理想といった「目に見えないもの」を顕在化し、新たな視点を提示することを目指しています。

身体という軸を通じ、人間の根源的な本質にアプローチすることで、私たちが自らの存在や価値観を問い直す機会を生み出していきたいと考えています。



Marco Gallery

【CV】

近年の出展

- 2024 Art Fair Tokyo2024/ 東京国際フォーラム 株式会社そごう・西武/ 東京
「ART SLOPE」西武渋谷店 / 東京
「Before Performance.」個展 / 東京
神楽岡久美 菅実花「PROTOPIA」展/ GalleryTOH / 東京
「DESGNTIDE TOKYO 描像するサテライト Imagining Satellites」日本橋三井ホール / 東京

2022 ~ 2023 ニューヨークで活動：在外研修アーティストとして公益財団法人吉野石膏美術振興財団による選定

個展

- 2022 「The Metamorphoses of Beautiful Bodies. - 未来の美的身体について」西武渋谷店/ 東京
2020 「Study of Non-verbal-communication.」gallery ON THE HILL / 東京
2019 「Metamorphosis to a beautiful body.」西武渋谷店/ 東京
「 Study of Metamorphose.」FabCafe Tokyo / 東京
2018 「身体と世界の対話 vol.2」WACOL STUDYHALL KYOTO / 京都
2016 「身体と世界の対話 - vol.1 Dialogue between the Body and the World (2015-2016)」T-Art Gallery / 東京
「 光を摘む」spiral / 東京
「 光を摘む - 光の記録」BRÜCKE / 東京

グループ展

- 2023 「わたしのからだは心になる？」展/ SusHi Tech Square / 東京
TAKEUCHI COLLECTION 「心のレンズ」展/ WHAT MUSEUM / 東京
「 Attention! Please Scan!」Sojourner Gallery / ニューヨーク
2022 「REBEL」The Untitled Space / ニューヨーク
「 Sift」Fall Exhibition, Open Studio, NARS Foundation / ニューヨーク
「 Traces」Summer Exhibition, Open Studio, NARS Foundation / ニューヨーク
「 kapCHər」Spring ExhibitionOpen Studio, NARS Foundation / ニューヨーク
2020 「㊟人の眼 -9 人のアーティスト小山登美夫監修」8/ Hikarie / 東京
「 ブレイク前夜 in 代官山ヒルサイドテラス 時代を突っ走れ！小山登美夫セレクションの
アーティスト 38 人」企画展 /代官山ヒルサイドテラス F 棟/ 東京
「 ワンピース倶楽部展 VOL.13 はじめてかもしれない」3331 Arts Chiyoda / 東京



Marco Gallery

- 2019 「京都大学ロンドン大学ゴールドスミス校主催 アートサイエンス国際シンポジウム
-Art Innovation 展 2019」 京都大学 / 京都
- 2017 「シブヤスタイル vol.11」 西武そごう渋谷店 オルタナティブスペース / 東京
- 2016 「SICF16 WINNERS EXHIBITION」 spiral / 東京
- 2015 「SICF16 (SPIRAL INDEPENDENT CREATORS FESTIVAL16)」 spiral / 東京
「BankART Artist in Residence OPEN STUDIO 2015」 BankART1929 / 神奈川
「シブヤスタイル vol.9」 西武そごう渋谷店 オルタナティブスペース / 東京

コンペティション・受賞

- 2021 「公益財団法人吉野石膏美術振興財団」 在外研修アーティストに選定
- 2019 「京都大学ロンドン大学ゴールドスミス校主催 アートサイエンス国際シンポジウム
-Art Innovation 展 2019」 山峰 潤也賞受賞
- 2017 「アイスタイル芸術スポーツ振興財団 現代芸術振興助成」 助成アーティスト選定
- 2015 「SICF16」 グランプリ 受賞
- 2012 武蔵野美術大学大学院 修了制作 優秀賞受賞

レジデンスプログラム

- 2022 Artist in Residency, New York Art Residency and Studios (NARS) Foundation / ニューヨーク
- 2015 BankART Artist in Residence, BankART1929 / 神奈川

企画 / 作品提供など

- 2010 「sakiori-bu」裂織ワークショップ企画、十和田市現代美術館 / 青森
- 2010 「ヴェニスの人」舞台、日欧舞台芸術、衣装・舞台美術制作 / ロンドン、イスタンブール、東京
- 2010 「ペリクリーズ」舞台、日欧舞台芸術、衣装・舞台美術制作 / ロンドン、東京
- 2010 「から騒」舞台、日欧舞台芸術、衣装・舞台美術制作 / ブラジル、東京

講師

- 2022 東京藝術大学 COI 拠点文化外交・アートビジネスグループ 特任助手
- 2021- 埼玉県立大学 ゲスト講師
- 2016- 武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科 ゲスト講師
- 2024- 東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 ゲスト講師



Marco Gallery

スズキエイミ / Eimi Suzuki

1993 年東京都生まれ。

文化学園大学 造形学部 ジュエリー・メタルワークコース卒業。東京を拠点に活動。

〔作家ステートメント〕

人体の中に秘められた、医療では解明できないなにかが存在するのでは
と思うことがある。

それは幼い頃から、そして日頃から病を持った人と医療が身近にある中で、
自然と感じているものであった。

医学では説明のつかない人体に起こる現象には、体の中に仕組みを超えたなにかが存在しそれらは人の祈りや巡礼に
体が応えているかのように感じた。

〔プロフィール〕

生や偏見、祈りをテーマとし、古典美術を現代に落とし込んだコラージュにペインティングを組み合わせた平面作品
を制作する他、金工作品やオブジェなども手掛ける。

毎年国内外で開催する展示活動を精力的に行いながら、アートディレクションやファッションブランドとのコラボレ
ーションの他、CD ジャケットや映画関係、装丁の描き下ろし等、その活動は多岐に渡る。

2022 年夏 ジュエリーブランド「eimieess」を始動。主な出版物に画集「Anatomie de l'Art Insolite d'Eimi Suzuki 悍
ましくも美しきものの解剖学」他 2 冊がある。



Marco Gallery

【CV】

[個展]

2024「Tarot and Venus」 梅田 蔦屋書店 大阪
2024「Fountain of knowledge」 Sibora 神戸
2022「Piece of Venus」 清アートスペース 東京
2022「Pygmalion」 Sibora 神戸
2021「Les enfants du Paradis」 清アートスペース 東京
2021「Eimi Suzuki 台湾首個展」 Art Space 金魚空間 台北 台湾
他多数

[グループ展]

2024「Precious Metal」 Modern Eden サンフランシスコ アメリカ
2024「The Little Paper Show」 Cartellino マニラ フィリピン
2024「Saturday Night Once More」 Marco Gallery WALL_alternative 東京
2024「GARDENS & CAGES」 Provenance Art Gallery マニラ フィリピン
2024「萌芽 (IIME FUKURAME) 国際新興艺术家作品展」 THE BOX 朝外 HRD ART 北京 中国
2024「Tuchi Imperial,Eimi Suzuki 二人展 "The Missing Score"」 Cartellino マニラ フィリピン
2024「KIOSK」 Marco Gallery 大阪
2024「Circumstellar」 Cartellino, マニラ フィリピン
2023「CABINET DA-END XII "THE MOON AND THE RABBIT"」 Galerie Da-End パリ フランス
2023「ART MARKET 2023」 OIL by 美術手帖 清アートスペース 東京
2023「スズキエイミ + pays des fées [Tabulae AnARTomicae]」 アート カプセル+ 西武池袋本店 東京
2023「EARTHLY DELIGHTS」 SECRET FRESH GALLERY マニラ フィリピン
2022「MOMENT to LAST」 代官山ヒルサイドフォーラム HRD ART 北京 中国
2022「蝉鳴」 アートホテル 美寓 meistay HRD ART 台北 台湾
2022「Intermission 幕間休息」 蘭心劇場 HRD ART 北京 中国
他多数

[アートフェア]

2024「Xavier Art Fest」 Robins Design Center(マニラ) Gallery Kogure 東京
2024「NEW ERA」 MEET YOUR ART FESTIVAL 2024 Marco Gallery 大阪
2023「Art Fair Tokyo 2023」 HRD ART 北京 中国
2021「Art Fair Tokyo 2021」 清アートスペース 東京
2021「ONE ART TAIPEI」 台北西華飯店 8樓藝術空間 台北 台湾
他多数



Marco Gallery

西山美なコ / Minako Nishiyama

1965 兵庫県に生まれる
1989 京都市立芸術大学美術学部 油画専攻 卒業
1991 京都市立芸術大学大学院 美術研究科彫刻 修了
現在、兵庫県に在住

なぜ薔薇なのか...

私が好きだからというより、薔薇が人々に愛され最も象徴的だから...その引力の理由を知りたいから。

砂糖でつくられた薔薇は、湿度や重力という自然の力でゆっくりと変容していく。

私はその変化にこそ魅せられてカメラを向ける。

自分が虫になったかのような、埋没するかのような大きさをプリントしてみる...

【協力】Yoshimi Arts @yoshimi_arts

【CV】

[個展]

- 2022 西山美なコ /ブドワール... Yoshimi Arts (大阪)
- 2018 西山美なコ 90's ★キラキラおめめ★ Yoshimi Arts (大阪)
- 2017 西山美なコ / wall works Yoshimi Arts (大阪)
- 2017 西山美なコ / drawings Yoshimi Arts (大阪)
- 2009 "〜いろいき〜" ガレリア・プント・ゼロ (岡山)
- 2008 "〜いろいき〜" 児玉画廊 | 東京
- 2007 "〜いろいき〜" 京都芸術センター
- 2007 "レフ・ペインティング" ガレリア・プント・ゼロ (岡山)
- 2006 "〜いろいき〜" 児玉画廊 (大阪)
- 2005 "〜いろいき〜" 児玉画廊 | 東京
- 2005 "あかいへや" ガレリア・プント (岡山)
- 2004 "illuminé" 児玉画廊 (大阪)
- 2004 "Pink Vacancy" 資生堂ギャラリー (東京)
- 2003 "百花残る。と、聞きもし、見もし……" ギャラリーイヴ (東京)
- 2002 "MINAKO NISHIYAMA" ギャラリーシマダ (東京)
- 2002 "スイート・ドリーム" 三菱地所アルティウム (福岡)
- 2000 "MINAKO NISHIYAMA ~destiny of Sugar Crown~" ギャラリーシマダ (東京)
- 1999 "MINAKO NISHIYAMA" ギャラリーシマダ (東京)
- 1997 "ピンク♥ピンク♥ピンク" 西宮市大谷記念美術館
- 1995 キューレーターズ・アイ '95" もしもしピンク" ギャラリーNWハウス (東京)
- 1994 "MINAKO NISHIYAMA" ギャラリー・ギスレーヌ・ユスノー (パリ)



Marco Gallery

- 1993 “MINAKO NISHIYAMA” ギャラリーシマダ（東京）
- 1992 “♡ときめきエリカのテレポクラブ♡”フォト・インターフォーム/インターフォーム・コンテンポラリー（大阪）
- 1991 ギャラリー16（京都）
- 1989 信濃橋画廊（大阪）
- 1988 西山美奈子のための アートスペース虹（京都）

[グループ展]

- 2024 “828.45K—Come & Go” 京都精華大学ギャラリーTerra-S（京都）
- 2024 第36回京都美術文化賞受賞記念展 京都文化博物館
- 2023 コレクション1“80/90/00/10” 国立国際美術館（大阪）
- 2023 コレクション展Ⅰ“虚実のあわい” 兵庫県立美術館（兵庫）
- 2022 瀬戸内国際芸術祭2022 香川県高見島
- 2021 “フェミニズムズ” 金沢21世紀美術館
- 2020 「開館15周年記念 現在地：未来の地図を描くために〔2〕 後期」（金沢21世紀美術館/石川）
- 2018 「drawing/collage」（Yoshimi Arts/大阪）、「Another World Charity Postcard Sale」（ドイツ銀行 Wealth Management Lounge (Frieze Art Fair内)/ロンドン）
- 2016 西山美奈コ、川内理香子二人展“stereotypical” Gallery PARC（京都）
- 2015 Kawaii!!!? James Hockey & Foyer Galleries, University for the Creative Arts （ファーナム、UK）
- 2015 おおいたトイレンナーレ2015（大分）
- 2015 “On the exhibition Room”CAS（大阪）
- 2014 六甲ミーツ・アート芸術散歩2014（神戸）
- 2013 瀬戸内国際芸術祭2013 香川県高見島
- 2013 六甲ミーツ・アート芸術散歩2013（神戸）
- 2013 “アートにみる愛のかたち Love展” 森美術館（東京）
- 2012 「AIR 3331」展 Vol.2 アーツ千代田3331（東京）
- 2011 "CAFE in Mito 2011 かかわりの色いろ" 水戸芸術館現代美術ギャラリー
- 2009 “広瀬光治と西山美奈コのニットカフェ・イン・マイルーム” 金沢21世紀美術館
- 2009 “女性アーティストとその時代” 資生堂ギャラリー（東京）
- 2007 “美麗新世界：当代日本視覚文化” ロングマーチ（北京）/ 広東美術館（広州）
- 2006 LOEWE 160周年記念 "Take me with you" Salon de Baile （マドリッド）他巡回
- 2006 “彫刻の力” 海岸通ギャラリーCASO （大阪）
- 2005 "アニメイト。～日韓現代アートに見るアニメ的なもの～"
福岡アジア美術館 / 省谷美術館（ソウル）巡回
- 2005 "あらわになる色: Pink" 東京芸術大学陳列館（東京）
- 2004 "夢みるタカラヅカ展" サントリーミュージアム[天保山]（大阪）/ 東京オペラシティアートギャラリー
/ そごう美術館（横浜） 巡回
- 2004 "OFFICINA ASIA" リミニ会場（イタリア）



Marco Gallery

- 2003 “party” CAP HOUSE（神戸）
- 2002 “ぼくらのヒーロー＆ヒロイン展” 市立小樽美術館
- 2002 “A ★ MUSE ★ LAND 2003 あそベンチャー・ワールド” 北海道立近代美術館
- 2001 “亜細亜散歩 - Cute” 水戸芸術館現代美術ギャラリー
- 2000 “Let's Entertain” ウォーカー・アートセンター（ミネアポリス、USA） / ポートランド美術館（USA） /
ポンピドー・センター（パリ） / ウォルフスブルグ美術館（ドイツ） / マイアミ美術館（USA）
- 1999 “アート・スイート・ホーム” 広島市現代美術館
- 1998 “マンガの時代” 東京都現代美術館
- 1997 “デ・ジェンダリズム- 回帰する身体” 世田谷美術館（東京）
- 1992 水戸アニュアル '92 “大きな日記/小さな物語” 水戸芸術館現代美術ギャラリー

[アートフェア]

2024 Art OSAKA 2024 Yoshimi Arts（大阪）

他

[受賞歴]

- 2023 京都美術文化賞
- 1991 京都市立芸術大学大学院 修了制作 市長賞

[壁画作品 / Wall Works]

- 2023 岡山大学病院
- 2016 帝京大学付属病院（神奈川）
- 2013 愛知医科大学病院（愛知）
- 2011 はなみずき歯科医院（広島）
- 2007 北野病院/緩和ケア相談室（大阪）
- 2007 京都芸術センター
- 2003 Daiwa Press（広島）

[舞台美術]

- 2004 "Chinoiserie " Schauspielhaus （ウイーン）
- 2001 "Dreamtime in Morishita Studio" 森下スタジオ（東京）

[パブリック・コレクション]

- 金沢21世紀美術館
- 高松市美術館
- 国立国際美術館
- 兵庫県立美術館



Marco Gallery

Group Exhibition “美の記憶とその先”



Group Exhibition

美の記憶とその先

2025.2/14(Fri)-3/16(Sun)

13:00-18:00

Holiday Mon/Tue
Reservation required/Wed



神楽岡 久美
Kumi Kaguraoka



西山 美なコ
Minako Nishiyama



スズキエイミ
Eimi Suzuki



Marco Gallery



〒542-0081
大阪市中央区南船場4-12-25 竹本ビル1・3・4F



@marco_gallery_osaka_japan
@marco_gallery_shop



Marco Gallery

出展作家：神楽岡 久美 / スズキエイミ / 西山美なコ

開催日程：2025 年 2 月 14 日（金）～ 3 月 16 日（日）

営業時間：13:00-18:00

定休日：月,火,祝日 *水曜はアポイントメント制

会場：Marco Gallery 1F

お問い合わせ：info@marcoart.gallery

大阪府大阪市中央区南船場 4-12-25 竹本ビル 1F,3F,4F

Takemoto BIDG 1F,3F,4F 4-12-25 Minamisenba Chuo-ku, Osaka City, Osaka, Japan

Tel: +81 06-4708-7915 E-mail: info@marcoart.gallery

